

どの生徒も自然や環境と関わりながら学んでいます。
この時期から学ぶことで、自然や環境を大切にし、
共生できる人間に育ってくれると確信しています。



ば、いつか立ちゆかなくなってしまうことでしょう。

中川根中学校では、総合的な学習の時間を「中マイスタディ」と呼んで、地域のことを題材にして学習を進めています。

「観光」「動物」「産業・文化」「川と生物」「星」「福祉・行政」「伝統・文化」「飲・食」「環境」の9つのジャンルに分かれ、個人がテーマを決め、過去・現在・そして未来の川根本町の姿を思い描いて取り組んでいます。

全てのジャンルにおいて、自然や環境のことに関わりながら学習を続けることで、生徒たちには自分が住んでいる地域の特色、豊かな自然を感じていってほしいものと思います。

中学生の時期から、この町の良さに気づき、将来を考えることができる子どもたちは、自然や環境を大切に、共生できる人間に育ってゆけると確信しています。

中川根中学校長 柿本誠

私が東京で大学生活を送っていた頃、部活動で環状8号線をよくロードワークしたのですが、排気ガスの臭いや空気の汚れがひどすぎて、すぐに息苦しくなったことを思い出します。

私たちのように自然の恵み豊かな環境で暮らしていると、そんな思いはしなくて済みますが、この自然も人間が守っていかなければ



■特集後記

澤本等さんにお話を伺う機会がありました。澤本さんは中中と本中の生徒に、主に鳥類（クマタカ、オオタカ、フクロウなど）の生態などを教えています。

クマタカもオオタカもこの辺りに結構たくさんいるんだそうです。私も驚きました。見えていないものがたくさんあるんだと実感させられました。

澤本さんは言います。

「生徒たちには、本に書いてあること全てが正しいと信じ込むのではなく、どんどん自然の中に出て、自分で体験・体感して覚えていって欲しい。こちらも、あまり最初から環境環境と口うるさく言うのではなく、自主性に任せておけば、自然に考え出す時がくると思っ

ています」

町内の小中高校で取り組まれている総合的な学習。「与えられた課題」ではなく、個人個人がテーマを決め、その現状や問題点、解決するための方法などを様々な角度から検証し、様々な資料を用いて考察する「自分たちで考える」授業です。

フクロウとの出会いによって広がりはじめた「自然を大切にしたい」という子どもたちの純粋な思い。

「飛べーフクロウ」
〜僕らの思いを乗せて〜
終わり

